



ましみの里

～幸せをつかむため、自ら考え行動する子供～

天童市立高掬小学校
学校だより No.8
令和7年12月19日
校長 鈴木博志

高掬の子と芳賀タウンの子

今から10年前、平成27年度の高掬小の全校児童数は191人でした。今年度は440名の児童数でスタートしましたので、10年で2倍以上に児童が増えたこととなります。その要因が芳賀タウンの誕生によることは周知の事実です。

今回、改めて高掬小学区の世帯数と児童数を調べてみました。わかりやすくするために、昔から高掬地区に住んでいた方々を「高掬地区」と表記しておりますのでご了承ください。

【世帯数】

全世帯数	高掬地区	芳賀タウン南	高掬と芳賀タウンの割合
1611世帯	1204世帯	407世帯	高掬75%：芳賀25%

※老人ホームの世帯数は含まず

【児童数】

全児童数	高掬地区	芳賀タウン南	高掬と芳賀タウンの割合
440人	167人	273人	高掬38%：芳賀62%

※児童数は令和7年4月1日現在

世帯数と児童数の関係を見てみると、世帯数では高掬地区が芳賀タウン南の3倍の数となっています。ところが、児童数で見ると逆転現象が起きます。世帯数の少ない芳賀タウン南が、全校児童の6割以上を占めています。

世帯数が多くて児童数が少ない高掬地区、世帯数は少ないが児童数の多い芳賀タウン南。子供たちはそれぞれのことをどう思っているのでしょうか？

子供たちに聞いてみたところ、高掬地区には「歴史が古い」「昔から人が住んでいる」「獅子踊りがある」というイメージがあり、芳賀タウンには「新しい人たち」「都会」「引っ越してきた人」というイメージがあるそうです。同じ学校に通っているものの、お互いのことを「高掬の子」、「芳賀タウンの子」と呼んでいます。「高掬」と「芳賀タウン」は別の地域と考える子も少なくないようです。

そんな中、本校の5年生が総合的な学習の時間に、高掬地区の歴史を調べてそれを劇にして発表するという学習を行っています。5年生も例にもれず、半数以上が芳賀タウンの子供たちです。そんな子供たちが、古くからある高掬の歴史を調べ、地域の伝統や文化に触れ、高掬地区に対する愛着を深めています。

裏面（2枚目）もご覧ください

まだ学習の途中ですが、5年生の児童が書いた感想の一部をご紹介します。

「都会のような芳賀タウンに住んでいる人たちが、伝統ある高掬地区の歴史について真剣に調べていた。芳賀タウンと高掬の距離が縮まったと思う。」

「芳賀と高掬は違うところだと思っていたけど、文化祭でみんな一つになった気がした。古いか新しいかだけじゃなくて、みんなで仲良くできるかが大事だと思う。」

「周りの環境が違うだけで、同じ場所で学んで、同じくらい自分の地域が大切で、そういう気持ちが地域の伝統をつくって守り続けていくんだと思う。」

本来、地域をつなぎ、盛り上げ、発展させていくのは、私たち大人の仕事です。急激に児童数が増え、児童数と世帯数の逆転現象が起きている高掬小学区では、特に「つながる」ということがとても大切だと思っています。面識のない大人同士がつながるといのは、きっかけがないとなかなか難しいものですが、この地で生まれ育った子供たちにとっては、ここが地元であり故郷になっていきます。

学校での学習を通して、地域という垣根を越え、つないでいこうとする子供が育っていることを、たいへん頼もしく思います。

～入賞、おめでとう～

・青少年読書感想文東村山地区コンクール	最優秀	2年	鈴木	芽佐
・青少年読書感想文東村山地区コンクール	最優秀	4年	石山	柊羽
・青少年読書感想文東村山地区コンクール	優 秀	3年	二瓶	衣颯
・青少年読書感想文東村山地区コンクール	優 秀	4年	鈴木	一佐
・山形県児童生徒版画作品展	佳 作	6年	鎌倉	桐
・山形県児童生徒版画作品展	入 選	6年	明石	劉聖
・山形県児童生徒版画作品展	入 選	6年	大山	瑛多
・山形県児童生徒版画作品展	入 選	6年	佐藤	來生
・山形県児童生徒版画作品展	入 選	6年	佐藤	麗愛
・山形県児童生徒版画作品展	入 選	6年	高橋	風奈
・市民書道展	三和油脂賞	1年	鈴木	咲満
・市民書道展	新月堂賞	3年	相澤	紬木奈
・市民書道展	一休園賞	6年	小山	千尋
・市民書道展	特 選	2年	須藤	彩心
・市民書道展	特 選	5年	奥山	瑞季
・上下水道習字展	優秀賞	6年	間	花鈴
・納税ポスター	優秀賞	4年	櫻井	凜結愛
・村山美術総合展	天童ロータリークラブ賞	5年	大下	奈穂圭
・村山美術総合展	天童市青少年育成推進協議会賞	3年	高橋	幸邑
・村山美術総合展	広重美術館賞	4年	阿部	新
・村山美術総合展	吉田大八会賞	5年	佐藤	咲良
・村山美術総合展	天童市芸術文化振興基金運営委員会賞	1年	大沼	蒼依